

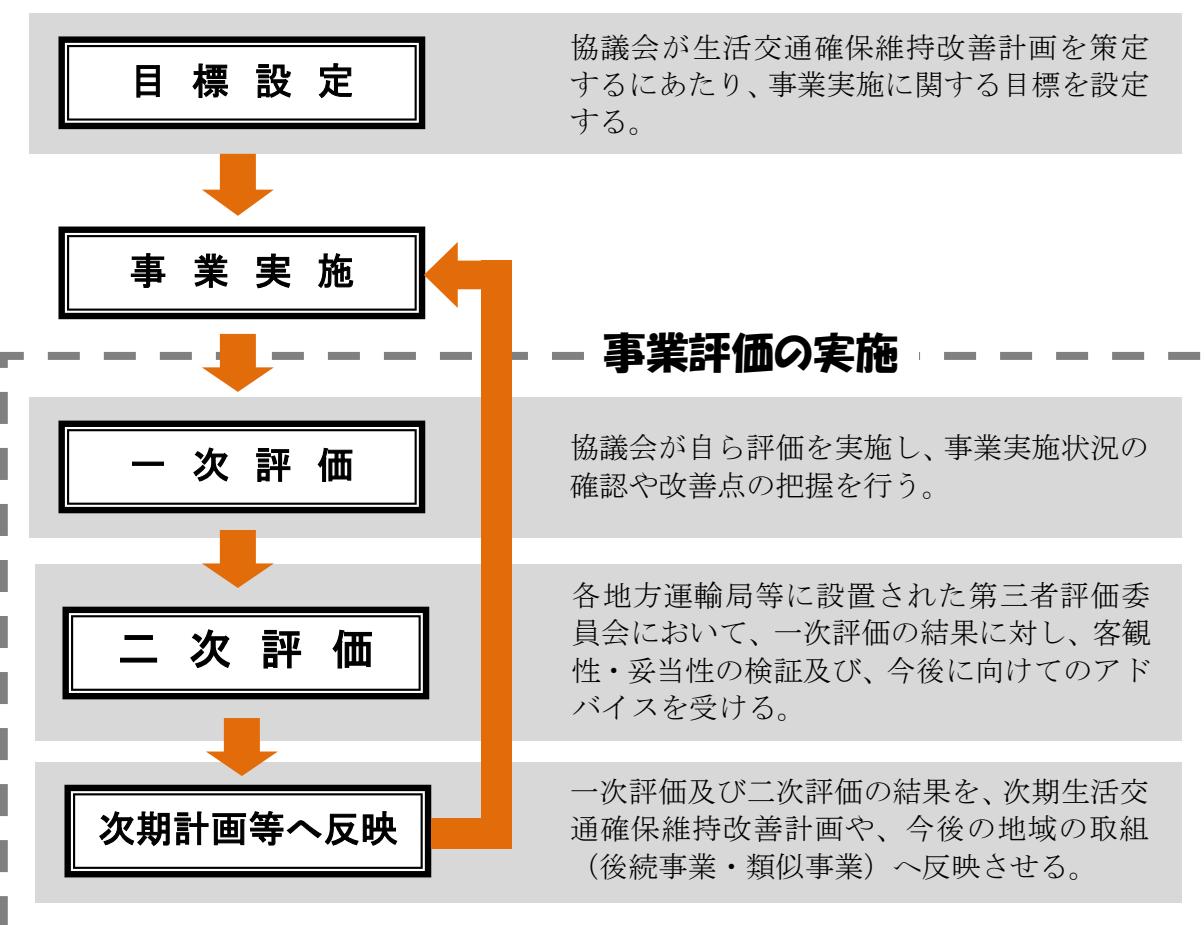
## 国庫補助事業（地域公共交通確保維持改善事業） に関する事業評価の実施（案）

### 1 事業評価

#### （1）概要

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会が自ら事業の実施状況の確認、評価を行い、国に報告することとなっている。

#### （2）事業評価の流れ



## 2 今回の対象事業

令和7年度事業（令和6年10月1日～令和7年9月30日運行分）

運行事業者 (補助対象事業者)	運行系統名
徳島バス株式会社	川内循環線
	川内循環線 (加賀須野経由)
	渋野線
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (マルナカ成長店行き)
	応神ふれあいバス (キヨ一エイ北島店行き)
大木タクシー有限会社	上八万コミュニティバス (南ルート)
	上八万コミュニティバス (北ルート)
	上八万コミュニティバス (東ルート)

## 3 一次評価（自己評価）

別添1のとおり

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 年 月 日

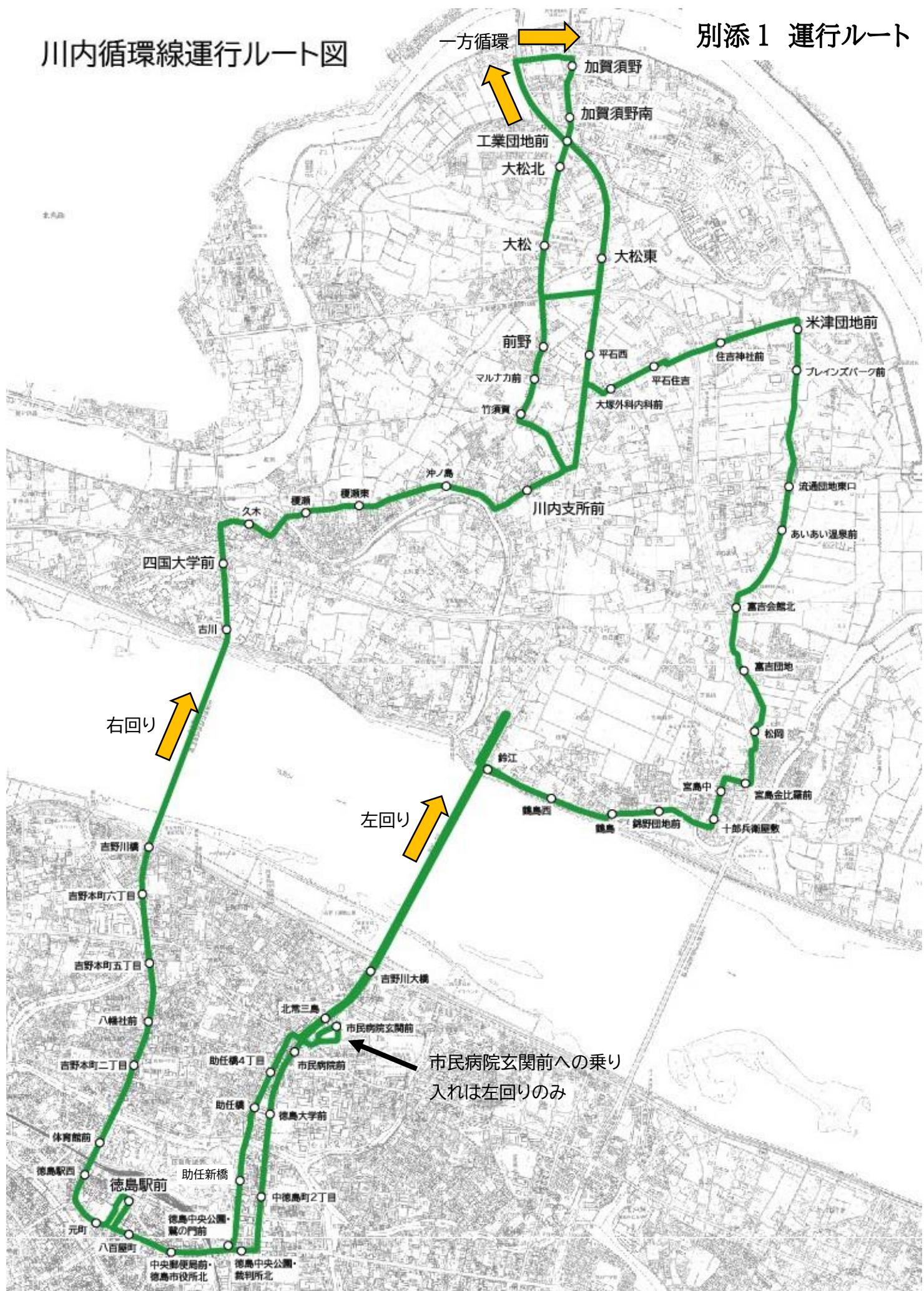
協議会名：徳島市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

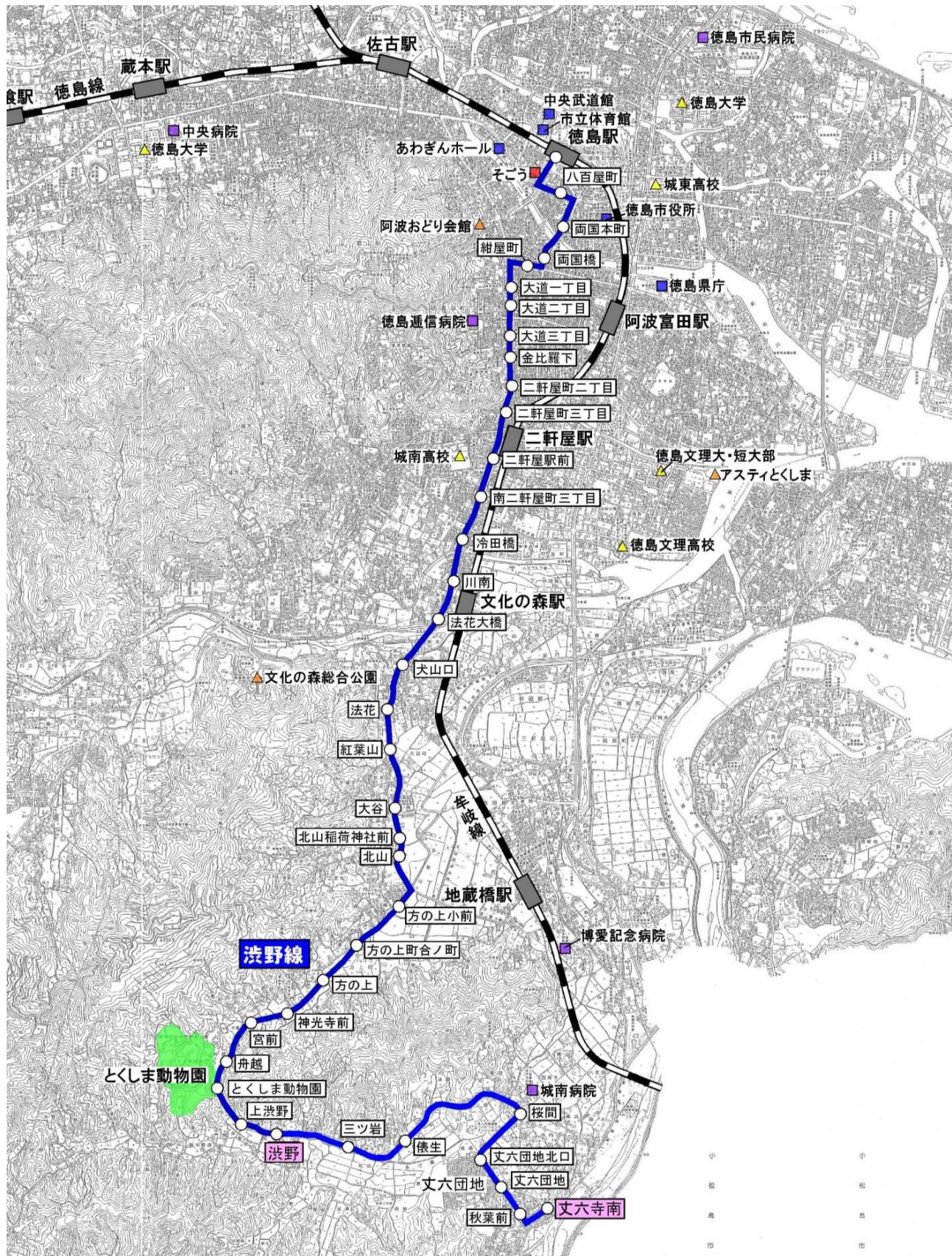
①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
徳島バス株式会社	川内循環線 (①徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅 ②徳島駅～加賀須野～徳島駅)	利用実態調査や乗降センサーのデータの解析を行い、詳細な利用実態の把握に努めた。また、バスロケーションシステムのPRのため周知・広報に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 B	<p>川内循環線全体 【利用者数】74,978人/年 (対前年比: 101.4%)(対前々年比: 128.3%) 目標達成率: 85.6% (目標: 87,576人/年) 【収支率】40.4% (対前年比: ▲7.6%)(対前々年比: ▲8.9%) 目標達成率: 89.9% (目標: 45.0%) 【公的負担額】42,154,466円 (対前年比116.3%) 目標達成率: 85.9% (目標: 36,200,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 &lt;川内循環線&gt; 【利用者数】43,279人/年 【1便あたり利用者数】11.9人 【収支率】38.9% 【公的負担額】24,436,944円 &lt;加賀須野経由&gt; 【利用者数】31,699人/年 【1便あたり利用者数】14.4人 【収支率】42.5% 【公的負担額】17,717,522円</p> <p>利用者数について、アフターコロナの人流の増加に加え、阿波おどりをはじめとした沿線の各種イベントの開催などにより、前年度及び前々年度より増加したものの、目標設定が過大のため、目標達成には至らなかった。系統別の川内循環線の利用者数は前年度より増加したものの、加賀須野経由では減少した。また、収支率について、系統ごとの川内循環線では前年度より改善したものの、加賀須野経由では改善に至らなかった。なお、公的負担額について、人件費や物価高騰による運行経費の増加、新紙幣対応のための機器更新などにより増額となつたが、日頃より運行事業者とともに経費の節減に努めている。</p>	引き続き、利用実態調査の実施とともに、設置した乗降センサーのデータの解析を行い、より詳細な実態の把握に努める。Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。また、ICカードの普及含め、諸機関と協力しながらイベント実施時や沿線施設への公共交通での利用を促し、利用者数増加に繋げよう努める。なお、適切な目標となるよう設定方法についても検討する。
徳島バス株式会社	渋野線 (徳島駅～動物園・渋野～丈六寺南)	利用実態調査や乗降センサーのデータの解析を行い、詳細な利用実態の把握に努めた。また、バスロケーションシステムのPRのため周知・広報に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 A	<p>【利用者数】65,778人/年 (対前年比: 128.3%)(対前々年比: 202.3%) 目標達成率: 204.1% (目標: 32,235人/年) 【1便あたり利用者数】18.6人 【収支率】44.7% (対前年比: 110.9%)(対前々年比: 113.4%) 目標達成率: 111.9% (目標: 40.0%) 【公的負担額】15,979,193円 (対前年比102.5%) 目標達成率: 97.0% (目標: 15,600,000円)</p> <p>利用者数について、アフターコロナの人流の増加に加え、阿波おどりや夜の動物園の開催など沿線の各種イベントの開催などによる利用者増のため、目標を上回った。また利用者増に伴い収支率も改善された。なお、公的負担額について、人件費や物価高騰による運行経費の増加、新紙幣対応のための機器更新などにより増額となつたが、日頃より運行事業者とともに経費の節減に努めている。</p>	引き続き、利用実態調査の実施とともに、設置した乗降センサーのデータの解析を行い、より詳細な実態の把握に努める。Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。また、ICカードの普及含め、諸機関と協力しながらイベント実施時や沿線施設への公共交通での利用を促し、利用者数増加に繋げよう努める。
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キヨーエイ北島店)	運行協議会による戸別訪問の実施により、新規利用者の増加及び、既存利用者の継続利用に努めた。また、利便性向上のため、令和5年10月1日から運行ルートの見直しを行った。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②とも四国大学前にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・応神藍住線・鳴門線に接続。高良神社前にて応神藍住線と接続。 ②フジグラン北島にて徳島バス鍛冶屋原線・立道線と接続。 利用者がGoogleマップ等のWeb乗り換え案内システムで乗り換え情報を検索できるよう、GTFSファイルで路線情報を公開している。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 A	<p>応神ふれあいバス全体 【利用者数】3,672人/年 (対前年比: ▲1.3%)(対前々年比: 104.3%) 目標達成率: 102.3% (目標: 3,590人/年) 【収支率】4.8% (対前年比: 132.0%)(対前々年比: ▲8.9%) 目標達成率: 86.8% (目標: 5.5%) 【公的負担額】2,633,403円 (対前年比▲4.1%) 目標達成率: 104.0% (目標: 2,740,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 &lt;マルナカ成長店ルート&gt; 【利用者数】1,066人/年 【1便あたり利用者数】5.2人 【収支率】5.3% 【公的負担額】638,074円 &lt;キヨーエイ北島店ルート&gt; 【利用者数】2,606人/年 【1便あたり利用者数】6.6人 【収支率】4.6% 【公的負担額】1,995,329円</p> <p>利用者数について、既存利用者の利用頻度が上がったことにより、目標を上回った。 しかし、定期券利用者が大半を占めたため収入は伸びず、収支率は目標を下回った。 公的負担額については、事務費の支出削減により目標を上回った。</p>	地域コミュニティ組織と連携し、広報に努めるとともに、免許返納を検討している高齢者世帯等への戸別訪問を継続するなど新規利用者の増加に努める。また、利用者や地域住民からの意見を集約し、路線・ダイヤの見直しを検討する。
大木タクシー有限会社	上八万コミュニティバス (①セブンしらさぎ台店～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ②ケアハウスやまも～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ③日比宇お地蔵さん～上八万コミセン～マルナカ徳島店)	地域のコミュニティ組織と連携し、地域でのイベント等を通じて広報を行い、増加した利用者の定着や、新規利用者の獲得に努めた。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②③協立病院前・亀井病院前にて徳島バス佐那河内線と接続。 利用者がGoogleマップ等のWeb乗り換え案内システムで乗り換え情報を検索できるよう、GTFSファイルで路線情報を公開している。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 A	<p>上八万コミュニティバス全体 【利用者数】1,626人/年 (対前年比: 121.5%)(対前々年比: 116.0%) 目標達成率: 110.5% (目標: 1,472人/年) 【収支率】10.8% (対前年比: 143.4%)(対前々年比: ▲6.4%) 目標達成率: 90.4% (目標: 12.0%) 【公的負担額】1,915,235円 (対前年比▲8.6%) 目標達成率: 108.6% (目標: 2,080,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 &lt;南ルート&gt; 【利用者数】803人/年 【1便あたり利用者数】6.2人 【収支率】13.9% 【公的負担額】674,737円 &lt;北ルート&gt; 【利用者数】309人/年 【1便あたり利用者数】2.4人 【収支率】7.4% 【公的負担額】661,139円 &lt;東ルート&gt; 【利用者数】514人/年 【1便あたり利用者数】4.1人 【収支率】11.3% 【公的負担額】579,359円</p> <p>利用者数については、広報活動により利用者が増加し、日常生活の足として利用される機会が増え、目標を上回った。 しかし、定期券利用者の比率が増加したことにより、利用者数の増加に対して収入が伸びず、収支率は目標を下回った。 公的負担額については、事務費の支出削減により目標を上回った。</p>	地域コミュニティ組織と連携し、イベント等を通じて増加した利用者の定着や、新規利用者の増加に努める。また、利用者や地域住民からの意見を集約し、路線・ダイヤの見直しを検討する。

## 川内循環線運行ルート図

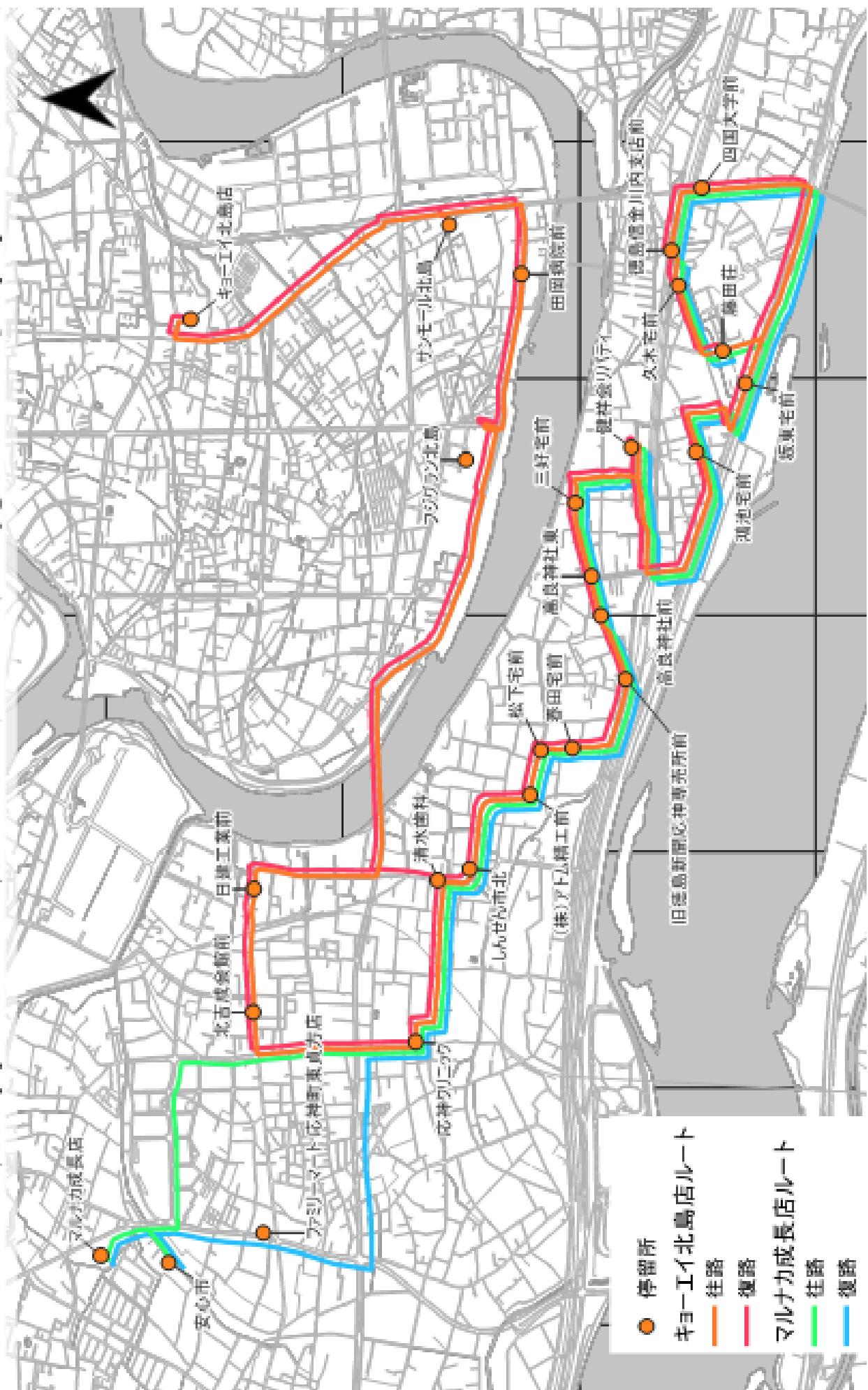
## 別添1 運行ルート



## 渋野線 運行ルート図



# 応神ふれあいバス 運行ルート図



## 上八万ヨミニテイバス運行ルート図

